



平成28年12月8日

「熊本地震学生ボランティア全体報告会」の開催について

平成28年熊本地震により大きな被害を受けた被災地で求められている活動の支援を行うため、香川大学として初めて、学生ボランティアを派遣しました。

熊本県内でボランティア活動を行い、被災地の状況に触れ、地域の方との交流及び、熊本大学・東海大学との連携など、講義や訓練等では得られない貴重な体験をしました。

今回のボランティア活動で学んだことを多くの方々と共有し、今後の防災活動に繋げる機会を創るため、報告会を開催いたします。

1. 日時：平成28年12月18日（日）13：30～16：00（受付13：00～）

2. 場所：香川大学幸町北キャンパス 415講義室（高松市幸町1番1号）

3. 参加費等：無料、12月14日（水）申込〆切（当日参加可）

※ご来学の際は、公共交通機関をご利用ください。

4. プログラム

開会挨拶

〈第一部〉熊本地震ボランティア活動の報告

「大学としてのボランティア活動の目的・役割」（工学部教授 井面仁志）

「香川大学での防災活動紹介」（工学研究科2年 岡田紘明・近藤智）

・香川大学防災士クラブの活動、機能別消防団の活動等

「学生ボランティアによる被災地支援」

・活動の概要（工学研究科2年 近藤智）

・熊本地震～益城町での体験～（経済学部4年 福元彩夏）

・第一回活動について（法学部4年 生田仁志、工学部2年 川合大地・足立夏海・朽木紗綾）
被害状況の視察、農業ボランティア、避難所での活動、炊き出し等

・第二回活動について（法学部3年 中嶋健祥・畝光貴之・山本凜太郎、工学部3年 松田明子・谷淳弘、
農学部3年 間嶋悠人）

現地での状況、被災地視察、瓦礫・瓦撤去、建物清掃、引っ越し作業

休憩

〈第二部〉熊本からの報告

・発災後の学生としての役割（熊本大学自然科学研究科2年 太田光）

・学生と住民の繋がり（東海大学農学部4年 前原教志）

〈第三部〉これからの課題と取り組み

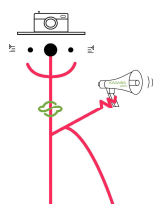
・今後の学生災害ボランティア活動について（法学部3年 岡崎和希）

・被災地支援と受援体制の課題（工学部教授 長谷川修一）

閉会挨拶

[主催] 国立大学法人香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

[共催] 公益社団法人 土木学会安全問題研究委員会



➤ お問い合わせ先

香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

TEL：087-832-1653

E-mail：dcmkikikanri2@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

※別添チラシ「熊本地震学生ボランティア全体報告会」を参照

熊本地震学生ボランティア 全体報告会



第1回熊本ボランティア



第2回熊本ボランティア

日 時：平成28年12月18日（日）13:30～16:00（受付 13:00～）

場 所：香川大学幸町北キャンパス415講義室（高松市幸町1番1号）

対 象：防災に興味のある方ならどなたでも

参加費：無料（定員 300名）

※ご来学の際は、公共交通機関をご利用ください。

開催目的

熊本県内でボランティア活動を行い、被災地の状況に触れ、地域の方との交流及び、熊本大学・東海大学との連携を通して、講義や訓練等では得られない教育の場や貴重な体験の場を得た。今回被災地訪問で学んだことを多くの方々と共有し、今後の防災活動につなげる機会を創る。

内容

- ・第1回熊本ボランティア（7月15～18日）
第2回熊本ボランティア（10月7～10日）
の活動報告
- ・熊本大学生、東海大学生による熊本地震で学んだことの報告

アクセスマップ



申し込み・問い合わせ先
国立大学法人 香川大学
四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
Tel 087-832-1653
dcmkikikanri2@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

開会挨拶

香川大学
防災
サポートチーム

熊本地震
学生
ボランティア

＜第一部＞ 熊本地震ボランティア活動の報告

「大学としてのボランティア活動の目的・役割」（工学部教授 井面仁志）

「香川大学での防災活動紹介」（工学研究科2年 岡田紘明・近藤智）

- ・香川大学防災士クラブの活動、機能別消防団の活動等

「学生ボランティアによる被災地支援」

- ・活動の概要（工学研究科2年 近藤智）
- ・熊本地震～益城町での体験～（経済学部4年 福元彩夏）
- ・第一回 活動について（法学部4年 生田仁志、工学部2年 川合大地・足立夏海・朽木沙綾）
被害状況の視察、農業ボランティア、避難所での活動、炊き出し等
- ・第二回活動について（法学部3年 中嶋健祥・畝光貴之・山本凜太郎、工学部3年 松田明子・谷淳弘
農学部3年 間嶋悠人）

現地での状況、被災地視察、瓦礫・瓦撤去、建物清掃、引っ越し作業

休憩

＜第二部＞ 熊本からの報告

- ・発災後の学生としての役割（熊本大学自然科学研究科2年 太田光）
- ・学生と住民との繋がり（東海大学農学部4年 前原教志）

＜第三部＞ これからの課題と取り組み

- ・今後の学生災害ボランティア活動について（法学部3年 岡崎和希）
- ・被災地支援と受援体制の課題（工学部教授 長谷川修一）

閉会挨拶



香川大学熊本地震学生ボランティア全体報告会申込み書：締め切り12月14日（水）

※当日参加可

お名前	
ご所属	

左記 申込書にご記入の上、
FAX087-832-1668までお送りください。

E-mailでお申し込みをご希望の場合は、
メール本文にお名前・ご所属をご記入の上
dcmkikikanri2@jim.ao.kagawa-u.ac.jp
までお送りください。